



内田局長(中央)に要望書を手渡す
小黒会長(左から2人目)

国、団体を表敬訪問 木質床材の採用要望

フローリング協会

フローリング協会(小黒邦雄会長)は22日、国土交通省、文部科学省、経済産業省など中央官庁15カ所を表敬訪問した。あわせて、日本フローリング工業会と合同で10班に分かれ、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県内の市役所や区役所50カ所を訪問、「フローリ

ング利用促進に関する陳情」を行い、木質系床材の採用を要望した。

中央官庁には小黒会長、笠

原英明副会長、外瀬泰宏副会長が訪問。国交省では内田要都市・建設産業局長、佐々木基建設流通政策審議官らと懇談、フローリング工事業界の職人不足や厳しい採算状況、社会保険未加入といった課題について説明し理解と指導を求めた。協会は昨年6月の設

立から日が浅いことから、訪問を通じて協会の認知度の向上や木質系床材の利用促進を図る。

小黒会長は、協会の経緯を紹介するとともに「品質の高いものを高度な技術でつくることのできることで、需要喚起を進めていきたい」と話し、指導を要請した。官庁のほか、建設産業専門団体連合会やベターリビング、全国建設室内工事業協会も訪問した。